

もの知り

こどもタイムズ

海水浴場で利用者の安全を守る「ライフセーバー」。福岡県新宮町の新宮海水浴場ではNPO法人「新宮ライフセービングクラブ」がボランティアで海水浴客の安全を守っている。メンバーが主に活動している同海水浴場は多くの子連れ客でにぎわう海で、僕も毎年行っている。ライフセーバーの仕事は午前9時半の「五水点検」から始まる。五水とは①水温②水深③水底④水流⑤水質のこと。海で安全に遊ぶためには欠かせないものだという。



福岡県新宮町・新宮北小6年 稲葉悠太特派員

海水浴客の安全を守るライフセーバー



新宮ライフセービングクラブのみなさんと稲葉悠太特派員(中央)

取材中、ライフセーバーが海を見守る「やぐら」にのぼらせてもらおうと、海全体を見渡すことができた。これなら海水浴客の安全を確認できる。双眼鏡を使うと消波ブロック近くまで見えた。その景色はともきれ

新宮ライフセービングクラブの活動拠点や道具には新宮町が助成金を出してくれている。しかし田原代表によると、福岡県の海水浴場にはライフセーバーが少ないのだそう。訓練は必要だが誰でもなれる。今は中学2年生のライフセーバーもいるという。

海の見守りだけでなく、海岸のごみ拾いや地域の子ども向け水泳教室などもしている。地域のために労を惜しまない姿に、僕も誰かのために行動できる人になりたいと思った。

こども

夏休みの宿題どんな？



※四捨五入しているため合計は100%



服部倫子記者＝小学4年の自由研究はタイ旅行とめた「タイ新聞」。紹介や言葉、現地でのをつづっている



ひまわり

〈作品〉
イラストが
話番
新聞

〈くじびきや〉
仲尾

習い事

アンケートからは、多くが夏休み中も習字や読書などを続けていた。